

上毛町教育委員会だより

町内小・中学校全面再開

2月27日(木)の全国一斉の学校休業要請から4月7日(火)の緊急事態宣言による休業延長などを挟み、5月25日(月)に約3ヶ月ぶりに学校が全面再開されました。

上毛町では、学校再開に向けて5月19日(火)から22日(金)まで、小学校は学年を地区別に2つに分けて、中学校は学年別での分散登校を行いました。

全面再開した学校では、手洗いやマスクの着用を徹底し、家庭と連携して毎朝の検温や風邪症状の確認を行うと共に、ドアノブや手すり、スイッチなど、多くの子どもたちが手を触れる箇所の消毒など環境衛生を良好に保つ取組を行っています。

学校生活では可能な限り密閉・密接・密集にならない工夫を行っており、教室の窓を開け、授業中は子ども同士が向き合うグループ学習を避けるなど換気を良くし、子どもたちの距離ができる限り確保しています。

学校では、子どもたちの健康と安全を守るために新型コロナウイルス感染拡大防止への取組をこれからも継続して行っています。

●問い合わせ先 上毛町教育委員会 教務課 学務係 TEL 72-3165(内線179)



▲前を向き、間隔を開けて給食



▲間隔を開けて授業

▲間隔を開けて手洗い



▲間隔を開けてトイレの順番待ち

▲登校時の消毒

新100歳お祝い訪問

この度100歳を迎えたお二人に対し、坪根町長が慶祝訪問しました。5月25日(月)に藤本キヨさん(宇野)、6月1日(月)に末松スダエさん(土佐井)にお祝い状と記念品を贈呈させていただきました。

藤本さんは、普段、宅急便の配達の受付を行っており、末松さんは庭の草取りをなさるなどお元気でお過ごしです。お二人ともお肉を含めしっかり食事をとられ食べることが長寿の秘訣とのことでした。

今後とも健やかに末永くお過ごしください。おめでとうございます。



▲藤本キヨさん

▲末松スダエさん

山本盛文氏 瑞宝単光章を受章

元県営林看守人の山本盛文氏(東上)が瑞宝単光章を受章しました。平成元年4月から令和2年3月まで、30年余の長きにわたり福岡県県営林看守人として県営林の巡回業務を担ってこられました。

県営林の看守人業務は、気象などによる森林被害の監視・盗伐などの防止・境界標識の管理など、急峻な森林地域を自らの足をもって行う巡回が主で、人目に付きにくい地道なものでありながら、積雪・酷暑・台風などの悪条件下においても年間を通じて行う、忍耐と体力を要する業務です。

山本氏は「これまでの積み重ねがあって現在があります。林業に感謝しています。」と感謝の言葉を述べられました。



町内小・中学校入学式

6月1日(月)に町内小中学校で入学式が行われました。

今回の入学式は、新型コロナウイルス感染症の感染並びに感染拡大防止の観点から規模を縮小し、このような時期になりました。

新入生は、夢や希望、期待を胸に抱き、新しく始まる学校生活に期待を膨らませていました。

上毛中学校
2020/06/01

上毛町青少年健全育成町民会議から感謝状が贈られました

町民会議では、青少年の健全育成に関し、優れた活動を行っている方に、毎年感謝状を贈呈しており、6月10日(水)、初山潮見さん(西吉富校区)と社会福祉法人光輪会「月の輪学園」(唐原校区)に感謝状が贈呈されました。

初山さんと月の輪学園の皆さんには、多年にわたり、児童生徒が通学するときの交通指導・安全確保にご尽力いただいています。



▲左から、初山潮見さん、社会福祉法人光輪会「月の輪学園」(桐村さん)、西会長

●問い合わせ先 上毛町教育委員会 教務課 社会教育係 TEL 72-3165(内線176)

町民会議は、さまざまな立場で青少年の健全育成を推進する皆さんのが集まり、青少年問題を解決するために関係者が連携した取組みを進めています。

《活動テーマ》

「今、わたしたちができること」

子どものために何ができるかを一人一人が考えるという意味。

《今年度の事業予定》

・子どもチャレンジ体験教室

※新型コロナウイルス感染症拡大懸念のため中止

・防犯カルタ大会

・標語コンクール

・青少年健全育成講演会